

するときは、歩行を輕易にし、且つ優美ならしむるに至ることを知るべし、然らば手腕の運動は全く之を禁すべきかと云ふに、決して然らず、是は宜しく行進の前後中間に靜に立てる時に於てすべし、行進中手を拍つは幼兒の喜悅を増すと云ふものあり、眞に然り、然れども歩行中に之をなさしむるを必要とせず、其前後に於て此喜悅を享けしむることを得べし、幼兒には多種の動作を同時になさしむるよりは、線の連續してなさしむるを以て、自然に合へる仕方なりとす、

要するに、行進と同時に手の動作をなさしむることなく、一段の注意を以て之をなすときは、歩行輕快優美となりて自ら其人の風采をも高むるの効あること疑なし、幼兒保育の任に當る方は、實際に試みられんことを望む



東基吉君の幼稚園案内は、次號から續載します。

予が幼稚園

市川源三

世が開化したとか、社會が進歩したとか、人間が發達したとか云ふのは、世間が全く一變し、社會や人間の根柢から變化したと云ふのでは無い。唯、もとの状態に或るものが加はつたと云ふのに過ぎぬ。即ち野蠻と云ふのは、白粉や紅をつけぬ人間開化文明と云ふのは白粉や紅をつけた人間と云ふに外ならぬ、言ひ換へて見れば、**野蠻=開化**、**文明=野蠻**

であるから、開化を組織する一大要素は、慥かに野蠻そのものに、相違無い。それ故、野蠻的要素の缺乏した社會や國家は必ず、衰運に向ひたもので、野獸的傾向の缺乏した人間は死に瀕したものと云はねばならぬ、早い話が、戦争だ。戦争は全く野蠻的行為だ、宗教家や或る一派の道徳家や、又は社會主義の人から見たら、これほど蠻的行為は無からう。けれども、如何せん戦争に負けては折角の文明もこれを扶植し發達させやうが無い。よし人間同士の戦争が無くなつたところで、他の動物との戦争や他の自然物との戦争は永久に跡をたつものでは無からうと思ふ。そこで、吾々は成るべく野蠻的要素の保存發達に注意せねばならぬ。教育は野蠻を開化にし、野蠻人を文明人にするのであるとは、普通に考へられるところである

が、これを誤解して、教育は兒童の野蠻的傾向を撲滅することであると思つては大間違である。ところが、事實この様な誤解を抱いて居る人が多い様に思はれる。殊に、今日の幼稚園教育はこの誤解の上に經營されてゐるはすまいかと思はれる。否、萬々その様な誤解があるのでは無からうが、保育その宜しさに適は無いで、人をして誤解して居るであらうと思惟せしめるのかも知れぬ。とにかく、喜ばしい現象では無い。そこで、自分は平生から思ふて居る。誰かが資本を出してくれたなら、東京市に一大幼稚園を建て、見やうと。今、その設備と組織との大要を述べやう。尤も細い點に於ては或は變更するであらうが、大体に於ては變更することは斷じて無いつもり。

一、敷地、凡そ二萬坪ほど欲しい。この二萬坪の

中央一千坪ばかりが池で、その周圍八九千坪が平野、平野の周圍一萬坪ばかりが山谷丘陵を築くつもりである。然して、その山谷に水道を導き、噴水を造り、その水は流れて川となり、池に入り、池の水は再び流れて川となり、山谷を過ぎて敷地以外の川或は海にそそぐと云ふ仕組にするのである。

一、草木及、鳥獸等、その山には普通吾々の目に觸れる様な草木を植ゑ、又野獸を放飼ひしてかくその平野には、普通の草木を植ゑ、又家畜を飼うておく、そしてその川と池とに普通吾々の食用にする位の魚介昆布類を養うておくのである。

一、校舎、と云ふほどのものは入用でない。只建物があればよい。その建物も建物らしいほどのものは無くてもよい、池の邊には海士の苦屋、平野

には賤が伏屋、丘陵には草の庵位が各三四軒あれば十分である。但し、平野にある一軒又は寒暑を防ぐ準備があることを要する。これは、病人を休養させるところであるから。その他は、疲れたときの休憩所、雨天の集まり場所たるに過ぎぬとする。

一、園兒、の數は百人か百五十人。年齢などは現行規定と同様でよい。但し、組は一定してかかぬをり、必要に応じて組別をするのである。衣服は股引と法服、帽もかぶらず、履物も穿かず。勿論夏でも洋傘をささず、冬でも襟巻、足袋、手袋を用ゐることは無い。但し、食物は上流社會で用ゐる居る位なものとは與へることにするが、それは、その川、その池、その平野、その丘陵から漁獵したのを用ゐるのであると定める。五穀菜菓も

その通り。

一、保母、男一名、女一名、その外に女醫一名。

男は高等師範學校卒業の程度、女は音樂と踊か舞さへ出來れば、その他はまつ必要は無い。女醫は保母の資格があるのは勿論、少し話の上手なので無くてもならぬ。

一、科目、科目は海軍陸軍山事の三つにわけける遊戯とか談話とか音樂とか手技とか云ふ別は立て無い。尤も各科に於て皆遊戯談話音樂手技等の仕事は無いでは無い。

一、保育の状況、まづ右の通り定めておいて、始業時間が來ると、全生徒を海軍組、陸軍組、山事組に別ける、そして教授の場合には男教師がその受持となり、練習の場合には女教師がその監督をするのである。そこで、海軍組は漁りをする。

陸軍組は耕作と飼畜とをする。山事組は狩りをする、午前十一時になると男教師の指揮の下に、皆一同集まつて遊戯をする、それも成るべく競争遊戯である、さて皆が漁りをし狩りをし得た獲物は、その間に料理され、正午には自分等の獲たもので佳味を食することが出來ると定める。この間に負傷者や病人があれば、例の女醫がその治療に任ずるのである。醫者を態々おくのも、割合に危険な事業、過激な遊戯をなさせるから、慣れた後とはかく、始めの間はどうしても、病人や負傷者が出來るであらうと心配するからである。夕になると皆集まつて食事をして、その後唱歌をうたひ、踊ををどり舞を舞ふので、それが終れば各自自宅に歸るのである。こゝに寄宿舎や教官の住宅などはおかぬ。

以上の組織設備及び保育法によりて保育された子供は、さて、どんな子供になるであらう。業務に勤勉な、獨立自營の精神に富んだ、遠大の思慮を持つた、探險事業を好む子供になるであらう。さうしてこの様な子供は戰場に立つては必ず勇者となり、學界にあつては、必ず發見發明をする活學者となるであらう。

## 神戸市出征軍人遺族兒童

### 保管所實況

兵庫縣幼稚園 榎 本 常

國家の安危を双肩に荷ふて出征せる我忠勇なる軍士をして、内亂の憂なからしめむには、其の遺族をして自動自活の道と與ふるに如かず、之をなすは我等留守居せる國民の義務なればとて、婦人奉公會では彼等がどんな生計を營んで居るかを精密に調査されました處が、幼ない子供がある爲意の如く働く事の出来ないものが非常に多い事を發見されました、こゝに於て同會は兒童保管所なるものを創設して晝間子供を保育して一つには獨立自營の道と與へ尙進んで間接に社會教育の一助たらしめむ事を期し、即ち本年

六月を以て市内に二ヶ所之を開始されました、一つは葺合部八幡社内、一つは神戸部楠町佛通寺別院内に、他の一つは藥仙寺内を借受けて開始されました、總計三ヶ所出來て居りまするが尙擴張せねばならぬ有様で御座います、然るに佛通寺の分は非常に狹隘を告げますので本月二日に楠社内、在郷軍人會場へ移轉せられました、以上三ヶ所に付て取調べました事項は別表の通りであります、扱三ヶ所の兒童とも朝は明るるを待ちかねて來りますれば直ちに入浴せしめ、同所に備へ付けの清潔なる着物と取かへ眼の悪しきもの或は病氣あるものにはそれく手當を加へ、最初のものは「ハンモック」に入れて牛乳で育て、居られます、其他の食事は晝飯と夕飯とを與へ、お菓子は午前午後に壹回宛與へられて居ります、最初此事が議決された事を兵庫、神戸の兩幼稚園長が聞かれまして此舉をして一層完全に發達せしめたいと色々協議されました結果、葺合部へは善隣幼稚園より、藥仙寺へは兵庫園より、楠社内へは神戸園、聖家族園より保母が一名或は二名宛交るゝ來つて幼稚園の保育を施して居ります、何れも中以下のもの斗りですから初は母親達に於て十分安心が出來かねたものと見えて僅が兩方で十五六名の申込でありましたが、熱心に全く献身的に親切にお世話されるありがたみがよく分つて参りましたので、續々依頼者を増し不足を告げました、幼兒も亦随分驚くべき舉動言語もありましたが追々成績がよく楽しんで遊嬉もすれば唱歌もうたふ様になりました、此の頃は幼稚園の先生々と非常に慕ひあはして余程秘密な關係となりました、戰爭にちなんだ説話などは大